

津久井やまゆり園事件 この悲しみを力に、 ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である
県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。



翔子


題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子

本県の取り組みや金澤翔子さんの席上揮毫の動画などは、
こちらから [ともに生きる社会かながわ](#)

この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。

お問い合わせ 神奈川県保健福祉局福祉部共生社会推進課 電話 045-210-4961 FAX 045-201-2051

平成28年10月14日 神奈川県

ともに生きる社会 かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

 神奈川県
KANAGAWA

津久井やまゆり園事件追悼式

平成29年7月24日
相模女子大学グリーンホール
(相模原市文化会館)

津久井やまゆり園事件追悼式 次第

日時 平成29年7月24日（月）午後1時30分
場所 相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）
大ホール

開式の辞

式辞

黙祷

追悼の辞

献花

ともに生きる社会かながわ憲章 朗読

閉式の辞

追悼式中の献花は、代表献花とさせていただきます。
閉式後、参列者の献花を行います。

<式壇について>

式壇中央には、津久井やまゆり園の利用者の方々が
哀悼の意を込めて折り紙で折った
「やまゆりの花」を添えております。



津久井やまゆり園の歌

作詞 長谷川 茂弘
作曲 玉城 宣信

一、 緑の山にかこまれて
根強い恵の静かなる
千木良の里のやまゆりよ
伸びよためろうこともなく

二、 白雲流れ小鳥鳴く
小仏峠の山すその
このやまゆりは母のごと
永遠に心の園なりや

三、 愛の心にはぐくまれ
香りかぐわし清き花
あやまゆりを友として
希望にもえて今日も生く

追悼曲演奏者

Mizuki Shikimachi

式町 水晶 ヴァイオリニスト

1996年北海道生まれ。
3歳の時に脳性麻痺（小脳低形成）と診断される。
リハビリの一環として4歳からヴァイオリン教室に通い始める。
5歳の時に網膜変性症・眼球運動失調・視神経乳頭陥凹拡大（緑内障）が見つかる。
6歳の時に世界的ヴァイオリン奏者、中澤きみ子氏に師事。
プロを志す。音楽性の幅を広げるため、10歳からポップスを始め、
幅広いフィールドで活躍中のヴァイオリニスト、中西俊博氏に師事。
現在、両師のもとで研鑽を積みながら、コンサート活動と楽曲制作に取り組む。

